第1学年通信（第5号）

平成３０年１２月１８日発行
福岡県立久留米高等学校
校　　　長：木本　和宏
第１学年主任：中尾　朋浩

『　2018 年　』

１年２組担任　：　向家　拓郎

2018 年が終わろうとしています。この１年間はあなたにとってどのような１年間でしたか。振り返ってみてください。中学生だった皆さんは、高校受検を通して学力面はもちろんのこと精神面でも大きく成長したはずです。そして久留米高校に入学してきました。その後約 8 か月の間、久高生として楽しいこともあれば苦しいこともあれば… 様々な思いを抱えながら過ごしてきたはずです。生活環境が大きく変わるというのは人生の中でもそう多くはありません。2018 年は中学生から高校生になるという大きな変化がありました。その『変化』の 2018 年だったからこそ皆さんに聞きたいことがあります。

「この１年間で『成長』できましたか？」

どのようなことでも良いです。自信をもって YES と言えますか。言える人はそのまま成長し続けてください。自信があまりない人は落ち込まないでください。まだ自分では気づいていないだけです。

皆さんもよく知っているであろう F1 の世界では、毎年レギュレーション（規則）の変更が行われます。皆さんがやっているスポーツで毎年ルール変更はありますか？多少の変更はあっても大きな変更が毎年あるわけではないと思います。しかし，F1 の世界では毎年多くのレギュレーション変更が行われます。その理由の大きな１つとして挙げられるのは、毎年同じルールでは車が速くなりすぎるからです。F1 の世界では 0.１秒でも速く走るための研究・開発が常に進められています。車が速くなりすぎるとドライバーの安全が確保できないため毎年レギュレーション変更を行い、車をあえて遅くしているのです。しかし，チームはどのようなレギュレーションの『変化』があったとしても、地道な研究・開発を行い、車を早く走らせようと努力します。するとシーズン序盤は昨年よりも遅くても、シーズン終盤では昨年よりも速い車になります。今までと違うレギュレーションでチームは戸

惑いますが地道な努力をし続けることによって、結局は昨年よりも『成長』し結果を出すのです。

（余談ではありますが、レギュレーション変更を行う人々と、各チームで車を開発する人々の多くは同じです。矛盾しているようですが、同じ人々が車を遅くするためのアイデアと速くするためのアイデアを持ち合わせているということです。興味深いでしょ??）（さらに余談ですが、なぜこのような状況になっているかというと、F1 が世界最高峰のレースだからこそ適応できるエンジニアの数も少ないからです。興味深いでしょ??）

皆さんは久高生になって様々なことが大きく『変化』したと思います。『変化』があったときには苦しみがつきものです。しかしそこで地道な努力をおこない苦しむ中で最終的には『成長』し結果がでるのです。この一年間で『成長できた！』と自信を持てない人はそれでもいいのです。今は苦しくてもいいのです。そこに立ち向かう姿勢こそ『成長』の証です。今の自分に自信はないかもしれません、中学校の時のほうが良かったと思うこともあるかもしれませんが、もがきながら突き進んでください。精神的にも人間的にも学力的にも様々な面で『成長』できるはずです。

それでは最後に、0.1 秒の速さを争う F1 の世界で使われる言葉を紹介します。

『 ***Slow and steady wins the race.*** 』

『　やばい日本史　』

１年２組副担任　：　石井　達也

これは最近出版された本郷和人氏（東京大学史料編纂所教授）の本のタイトルです。期末考査も終了しました。ということで、読書する時間もできると思いますから、今回は気楽に読める日本の本を紹介します。歴史を学ぶとたくさんの人物に出会います。数多くの人物を知ることが歴史に興味を持つ一番の近道ではないかと思います。しかし、偉人としての「すごい」部分だけを知ってもあまり面白くありません。むしろ、短所とか変な行動とか、ちょっと「やばい」部分を知ることでより一層その人物を身近に感じることができ、面白くなると思います。日々の勉強で疲れている１年生諸君、ためしに読んでみてください。

『　こんにちは　』

１年４組副担任　：藤野　謙一

　こんにちは。国語科の東先生の代わりに授業を担当している藤野謙一と申します。45 歳です。約１０年ぶりに高校で国語を教えているので皆様には大変ご迷惑をお掛けしております。１０年の間は海外をふらふらしながら生きてきました。

　あ、まだこの文を読んでくれているのですね、ありがとうございます、続けます。私は他の先生のように、皆さんの役に立つようなことばを持っていないので、作家のことばを借りてきました。彼はこう言いました。『高校３年間を過ごすにあたって、ひとつだけやるべきこと？自らを健全に懐疑することではないでしょうか』（※注・懐疑＝疑いをもつこと。あやぶむこと）だと。以上です。

　最後まで読んでくれて感謝します。

１．１年生クラス対抗ディベート大会について

（１）試合結果

	勝ち
・第１試合 肯定側　６組　対　否定側　３組・・・・・	肯定側　６組
・第２試合 肯定側　２組　対　否定側　４組・・・・・	否定側　４組
・第３試合 肯定側　５組　対　否定側　１組・・・・・	否定側　１組

（２）ベストチーム賞（生徒全員の投票による）

- 優　勝・・・１組（第３試合　否定側）
- 準優勝・・・６組（第１試合　肯定側）
- ３　位・・・２組（第２試合　肯定側）

（３）ベストディベーター賞（生徒全員の投票による）

・１　位・・安　川　陸　斗（６組）第１試合　肯定側質疑

・２　位・・古　賀　海　優（１組）第３試合　否定側反駁

・３　位・・三　谷　麗　菜（１組）第３試合　否定側立論

第１試合

第２試合

第３試合

・３試合とも、熱の入った論戦が繰り広げられました。

２．今後の主な日程

・１２月１８日（火）２学期終業式　・　三者面談

・１２月１９日（水）～２８日（金）冬課外（全学年）

・１２月２８日（金）仕事納め

・　１月　７日（月）～　８日（火）冬課外（全学年）

・　１月　９日（水）３学期始業式

・　１月１２日（土）進研模試（１年２年）

・　１月１８日（金）能楽鑑賞（１年）

・　１月２５日（金）英検１次

・　１月３０日（水）マラソン大会